

訪日客初の2千万人

16年10カ月で達成

観光庁は31日、2016年に日本を訪れた外国人旅行者数が30日時点の推計で2千万人を突破したと発表した。年間2千万人を上回るのは初めてで、過去最多だった昨年の年間1974万人を約10カ月間で超えた。ただ1~9月の前年比伸び率は24%で、昨年1年間の47%に比べ鈍化している。政府は観光戦略で、20年に年間4千万人という目標を掲げており、宿泊施設の整備促進など、受け入れ環境の改善を加速させる。

政府、受け入れ策加速へ

石井啓二国土交通相は「強力に推進していく」との「目標に向け、地方の観光資源の磨き上げやインフラ整備などの施策を、今後も」で韓国からの旅行者が一時

的に落ち込むなどマイナスイヤムもあつたが、クルーズ船の寄港増や航空便の新規就航が押し上げに大きく寄与。花見シーズンの3月に単月で初の200万人を超え、7月は単月過去最多の229万7千人を記録するなど、好調に推移した。

訪日プロモーションやビザの発給要件緩和により、東南アジアからの旅行者の伸びが目立った。

ただ円高進行や中国経済減速の影響で、伸び率が昨年のような勢いはない。さらに中国や香港の旅行者が高額品を大量に購入する「爆買い」現象が沈静化。7~9月の訪日客の総消費額は4年9カ月ぶりに前年同期を割った。今後は、滞在期間を伸ばしてもらうなど消費喚起の取り組みも課題となる。

訪日客は13年に初めて年間1千万人を突破。今年は1~9月の累計で1797万8千人に達していた。



(2016年10月31日付夕刊1面)

① 記事の下の方にあるグラフを見て、気が付くことを書きましょう。

数が2015年から急激に伸びている、2009年と2011年はそれぞれ前年より減少している、など。

② 16年の訪日客が増えた大きな要因を、記事から抜き出しましょう。

クルーズ船の寄港増や航空便の新規就航

③ 記事の論調として、訪日客2千万人突破を手放しでは喜んでいません。理由を、記事から読み取って書きましょう。

円高進行や中国経済減速の影響で、伸び率が昨年のような勢いが無い。「爆買い」現象が沈静化し、7~9月の総消費額が前年同期を割っている。